

第 132 回「防災まちづくり談義の会」レポート

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

平成 28 年 6 月

日 時: 2016 年 6 月 24 日(金) 18:00-19:30

場 所: 神奈川大学 24 号館 310 号室

◆ 主 催: 防災塾・だるま

司 会: 山田美智子

記 録: 紅林敏行

◆ 談義の会参加者: 会員 18 名 一般 4 名 (含む講師) 計 22 名 (敬称略)



山田さん (司会)

青葉区民会議 1995年発足

青葉区役所は、区民会議の自主的な活動に対し、側面から支援するとともに助言を行います。事務局は総務部区政推進課にあります。

(現存する区民会議は4区のみ)

防災・減災講座の取り組み

2012年「防災のつどい」開催
防災・減災公開講座等を6回実施
2015年から減災ミット2回開催。



中央が小池さん(講師)



池田副塾長(挨拶)

話題: 『青葉区民会議はこう考える』～市民の視点とデータで防災・減災の課題をとらえる～
青葉区民会議 安全・安心・まちづくり部会の取り組み

講師: 小池 由美氏 (青葉区民会議副代表、青葉区災害ボランティア連絡会副会長、
青葉区ライオンズクラブ連絡会理事)

2011年8～10月「青葉区民 震災アンケート」の実施(大震災発生のその時、あなたはどこにいましたか?)

●青葉区民の特性(昼間人口が市内で一番低い75%、就学就労者の5割が東京方面へ通う実態)

⇒青葉区防災計画改定に向け、帰宅困難者対策に「帰れない」対策と「帰って来られない」対策を提案・採択

●町の防災組織(自治会)の実態、在宅避難の準備の実態等から課題を抽出

⇒「地域防災力の向上」、「防災ひとづくり」⇒防災ミットでコミュニティや地域での取組を紹介



●青葉区災害時応急医療

⇒12ヶ所の医療拠点開設
周辺医師が各拠点で毎年訓練
(青葉区のみ(従来のみ))

●「減災ネットワークあおば ポータルサイト」開設

●コミュニティや地域の先進的な取組の紹介を継続

●青葉区防災計画震災対策編
⇒「青葉区民会議の位置づけ」
安全・安心・まちづくり
部会で発災時における防災
リーダーの養成等を推進。

●「防災まち歩き」

高低差、高齢化、区境、急傾斜地崩壊
危険区域、遊水池等の課題を抽出

●青葉区民会議の防災・減災の 今後の取り組み 「バ-ジヨ2！」

町別の地域データを集積し、仮説を立案
町と拠点のそれぞれの防災の課題を見る化

・防災人づくり⇒防災・減災グッズの創設

・課題の見える化(減災ポータルネット)

⇒YOKAHAMA LOCAL GOODへ

・オープンデータとオープンガバメント

⇒行政と区民会議が協働で課題に取り組む
横浜市への具体的な要望・提案づくり

《活発な意見交換》

・「巨大マンション(684世帯)が10分で安否確認」はどのような工夫をしているのか?

⇒各棟各階等で細かな役割分担を作成。安否確認カードを上から下へ落とす仕組み(伝令ロ-プ)を構築。
第20回防災まちづくり大賞消防庁長官賞受賞の活動

・自分の地域では自治会の中に防災対策組織を別途組織化している。青葉区の自治会ではどうか?

⇒専門化して組織運営しているところは強い。地域にあった様々な減災の取り組みをしている。

・区民会議に参加するには?⇒公募は2年に1回、広報に記載。毎月の勉強会にはどなたでも参加可。

●次回(第133回)案内

・日時: 2016年7月29日(金) 18時～19時30分 ・場所: 神奈川大学 24号館 310号室

・話題: 岩手県山田町5年目の今!

・講師: 被災地ツアー(7/1～7/3)参加者レポート